

平成30年度第1回村上市図書館協議会議事録(概要)

(1) 日 時 平成30年6月27日(水) 午前10時5分～11時45分

(2) 場 所 教育情報センター 2階 会議室

(3) 出席委員 板垣和伸委員、川村久美子委員、小池 毅委員、平山恵子委員、
山口又一郎委員、脇川ますみ委員

(4) 事務局出席者

遠藤教育長、板垣課長、菅原参事(中央図書館長)、石田係長、高橋係長、板垣主任、
齋藤主事

《会議次第》

1. 開会(進行：板垣主任)

2. 挨拶

遠藤教育長

3. 委嘱状の交付

(自 己 紹 介)

4. 図書館協議会について

【図書館協議会について菅原館長から説明】

5. 会長、副会長の選出

会 長 山口又一郎 委員 副会長 板垣和伸 委員

6. 報告事項(進行：山口会長)

(1) 村上市図書館の活動評価について

【活動評価について石田係長から説明】

会 長 活動評価について質問・意見はありませんか。

会 長 評価については一昨年見直しを行い、昨年から資料No.2のようにAAからDのように変更した経緯があります。

小 池 評価は図書館法とのことですが、図書室は評価の対象になりますか。

係 長 図書館の運営についての評価ですので、図書室については対象にならないと思われます。

会 長 他にいかがですか。

委 員 なし。

会 長 それでは、村上市図書館の活動評価について今後このように進めていくこととなります。よろしくお願いします。次に平成30年度村上市立中央図書館事業計画について事務局から説明をお願いします。

【事業計画について菅原館長から説明】

会 長 ありがとうございます。これに基づいて平成30年度が進んでいますが、質問・意見はありませんか。

川 村 ネットワーク事業とはどのようなものですか。経費も多くかかっているようですが。

- 係 長 利用者の目には見えない部分ですが、別々の自治体である村上市・関川村・栗島浦村の図書館を同じシステムでつないでおり、お互いに貸し借りができたり、利用者情報を共有しています。例えば村上で本を借りて、山北で返すということもできます。経費がかかっているのは、このネットワークを維持するための経費になります。関川村、栗島浦村からは負担金を徴収して運営しています。なおこの方法は、図書館を広域事務組合で運営していた時から継続しているもので、県内には当地域しかありません。
- 小 池 関川村には高齢者施設が多くありますが、団体貸し出しの実績はどうですか。
- 係 長 保育園と子育て支援センターには貸していますが、老人福祉施設には貸し出していません。
- 小 池 施設に長期入所している方も多く、このようなサービスを行っていることを施設の人が知らないのではないかと思います。要望があれば対応できますか。
- 係 長 団体登録をしてもらい、利用カードを作ってもらいます。中央図書館に来て手続きしていただきたいと思います。宅配で本をお届けすることもできますが、宅配料金予算が厳しくなっています。団体に図書館に来てもらって借りていくように見直しをする時期に来ていると思われます。
- 小 池 団体が図書館に来て借りるのは問題ないということですか。
- 係 長 短期が1ヶ月で30冊、長期が1年間で100冊というメニューになっています。長期100冊は小学校がほとんどです。短期のほうが利用しやすいと思います。
- 副会長 来館者と貸し出し数について、男女、年代、地域で統計が取れていますか。
- 係 長 入館者は図書館入り口のセンサーで、1往復で1人とカウントしている関係上、年齢、性別は区別できません。感覚的に子どもが多いとか高齢者が多いとかを感じることはありますが、統計は取れていません。貸し出し数は統計を取ることはできます。一番多いのは、図書館でも移動図書館でも60代以降の方で、2番目が30代の方と子どもです。高校生から20代前半の方は利用がほとんどない状態です。
- 副会長 40代、50代の男性はどうでしょうか。
- 係 長 少ないです。仕事が忙しい、本が好きではない、本は買うものだと思っているなど、理由はさまざま考えられます。ただし、たくさん本を読みたいとなれば図書館を利用する方がいいと思います。その年代へのアプローチも考えていかなければならないと思います、
- 副会長 私も利用カードを持っていますが、力を入れていきたいという年代の方は他の年代に比べて少ないですか。
- 係 長 利用カードの保有率は、資料No.3-2の有効登録者数に出ています。各年代で激しく数字が違っているわけではないですが、カードは持っているけど使わないという状態だと推測されます。

- 副会長 レファレンスサービスは非常に助かっています。利用者のニーズに優しく的確に答えていただいています。読みたい本がない場合は、探してよその図書館から借りてくれます。とても便利なサービスですが、図書館の業務の中で、レファレンスはどのくらいの割合ですか。
- 係 長 資料No.3-2の8ページ目をご覧ください。レファレンス状況があります。貸し出しに比べると割合は低い状況になっています。2ページ目には相互貸借の状況が載っています。国内の他市、他県の図書館からも本を借りることができます。
- 副会長 重点項目の中に、課題解決に向けた利便性の向上という項目がありますが、そういった便利なサービスが図書館で行われているという広報がどれだけされているかを聞かせてほしい。
- 係 長 よその図書館から借りるのは無料です。ただし、送料がかかります。送料については、利用者負担か図書館負担かは自治体によりそれぞれです。当館は図書館で負担しています。予算が厳しくなっている中で、今後利用者に負担をお願いしなければならない時が来るかもしれません。便利なサービスを積極的に広報できない状況にあることをご理解いただきたいと思います。
- 副会長 私は、図書館のサービスのおかげで調べ物ができていることに対して感謝しています。
- 川 村 読み聞かせ団体と一緒に何かすることは考えていますか。
- 係 長 公民館でやっているようです。図書館が読み聞かせ団体と一緒に打ち合わせをする場合は、イベントの際と次年度の計画で協力要請する場合です。中央館、朝日図書館以外で活動されている団体とは会議などを行うことは考えていません。
- 川 村 私は読み聞かせ団体に所属しています。小学校からブックトークの要請を受けましたが、対応できなかったのが図書館に依頼したら快く引き受けてもらいました。その時に、図書館がとても身近に感じました。今まで遠い存在だと思っていましたが、これを機にいろいろと考えていけたらと思っています。
- 係 長 いつでもご相談の乗りますのでよろしくお願いいたします。
- 会 長 事業計画の中に、児童への読み聞かせやブックトークの実施とありますが、今の意見のようなことは含まれていますか。
- 係 長 この部分は、学校訪問事業です。学校側からの要請により出向くものです。それ以外は、中央館と朝日図書館で定期的にボランティアをお願いしています。
- 副会長 村上市岩船郡にどのような読み聞かせ団体があるか把握していますか。
- 係 長 図書館では把握していません。公民館事業でボランティア団体を発掘していますので名簿等は公民館にあると思います。荒川、神林などの地区館、室にもボランティアが入っていますが、公民館事業として実施しているも

のです。4月の子ども読書の日に合わせて「おはなしワールド」というイベントを実施しています。これは中央図書館が公民館に協力してもらい実施しています。

川 村 読み聞かせをしても子どもが来ません。ゼロという日もあります。どうしてかなと思いましたが、子どもは1人では来れませんから、大人の都合なんだろうなと感じました。

平 山 以前は公民館での読み聞かせに子どもたちがいっぱい来ていましたが、今は子育て支援センターができて、遊び道具が充実しているそちらに通っているようです。神林は告知端末で放送していますが、先日の読み聞かせはゼロでした。読み聞かせだけでは魅力がないのかなと感じています。

会 長 朝日でも告知端末で放送していますが、公民館事業だったんですね。

係 長 地区公民館で実施している読み聞かせは、公民館事業になります。

会 長 子育て支援センターへの訪問をしているようですが、本の紹介ですか、読み聞かせもしているのですか。

係 長 山辺里と朝日については、職員が赤ちゃん向けの本を持って出向きます。そこで2、3冊読み聞かせして、おすすめ本の貸し出しもします。これ以外のところには団体貸し出しで絵本を宅配で送っています。

平 山 神林では、子育て支援センターの管理がNPOになりました。そこからの依頼で、月1回読み聞かせに行っています。

会 長 そういうことを繰り返しながら図書の利用促進がなされていくことが、運営上大変いいことだと思います。委員の皆さんがもっともっと図書館を大いに活用してPRしてくれることを期待します。

課 長 先日地区公民館長の会議で、読書ボランティアについて話がありました。中央公民館では毎年読書ボランティア養成講座を行っています。また講座だけでなく読書ボランティアさんが集まっていろいろお話しする機会も1、2回行っています。しかし、地区公民館と図書館の動き方の連携がうまく行っていない部分もあると聞いています。子育て支援センターとの連携の部分についても、地区公民館、図書館と調整させてもらいたいと思います。どこでやるかではなく、子どもたちがいかにたくさん本に触れてもらうかが大切なことですので、いろいろな情報提供しながら進めて行きたいと考えています。

副会長 子ども読書の日イベントなどはやっていますか。

係 長 4月に実施しています。同様に今年度も実施しました。毎年4月は1年の中でも利用者が少ない月です。イベントの参加者も少なくなります。チラシを小学校に全校配布していますが、なかなか集まらない状況です。この時期にイベントをするか否かもありますが、毎年4月23日が「子ども読書の日」であることを覚えていただいて委員の皆様からぜひPRしていただければと思います。

会 長 イベントの持ち方について、今年度は終了しましたので、検証をお願いし

たいと思います。

会 長 子ども読書活動推進計画で、児童書を整備することになっています。昨年度は予算を増額して充実した整備ができましたが、今年度はどのような計画ですか。

係 長 平成29年度は荒川、神林、山北の図書室に児童書を整備し、大幅に入れ替えができました。今年度は通常予算に戻りました。児童書の充実度についてはまだまだ不十分ですので、一般書と児童書のバランスを見ながら購入し、配本で入れ替えを進めたいと考えています。

会 長 予算的な面は仕方ないものですが、予算の使い方を工夫しながら児童書について手厚い対応をお願いします。

脇 川 マンガに関してはどのような考えをお持ちですか。

係 長 選書基準で、評価の定まったものを購入することになっていますので、マンガ・コミックを購入することはできません。購入できるとすれば、手塚治などの昔の名作的なものが対象になります。ただし、ノベライズ版が出た場合は、リクエストがあれば購入できます。

副会長 図書館に市民の皆さんの関心を向けることや、子どもたちの読書の推進を図ることとして3つ提案ですが、1つ目は、生涯学習推進センターや情報センターのイベントとタイアップしてみたらどうでしょうか。10月ごろには地区公民館まつりがありますし、12月にはメディアメッセがあります。2つ目は、読み聞かせサークルの皆様の活動の場を提供してほしいと考えています。3つ目として、地区公民館と連携した講座を考えて行ったらいいかと思いますがいかがでしょうか。

係 長 図書館以外のイベントとタイアップについては既に実施しています。読み聞かせサークルの皆様の活動の場の提供については、中央図書館では火曜日にたんぽぽの皆さん、土曜日にとしょかんサポーターの皆さんが活動しています。朝日図書館はどんぐりさん、神林は公民館事業でぽてとの会さん、荒川が野いちごさん、山北は不定期で森の海賊船さんが活動されています。荒川や神林で活動されているボランティアさんが中央図書館など別の地区で活動したい場合は、調整してぜひご協力していただきたいと思っています。公民館との連携事業については、以前は実施していました。公民館主催講演会の講師が書いた本が図書館にある場合は、コーナーを設けていました。そのような連携はできると考えます。

会 長 図書館と公民館でその協議をすることは難しいことではないと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

小 池 図書の購入費をうらやましく思いながら資料を見ていました。入館者が減ってきている中で、平成29年度は予算が増えているのでしょうか。どこも人口減少している中でイベントで人を集めるのに苦労していますし、蔵書を増やすことが利用者を増やすことにつながると考えられますが、他の市の図書館はカフェがあったり今の時代にあった新たな方向での取り組みは

考えていますか。

係 長 最近オープンした図書館は、さまざまな形で運営されていますが、当館でそのような予算も計画也没有ありません。既存のものを有効活用しながら少しずつ変えていくしかないと考えています。

川 村 中央図書館の入館者数が11万7千人で利用者が4万1千人ということは、本を借りなくても雑誌を読んだり勉強したりしているのですか。

係 長 長い時間滞在しても制限がありませんので、新聞を読みに来たり、インターネットを使いに来たりという方がいます。

脇 川 ある所では、カフェがある図書館もあります。情報センターのロビーの一角を業者に貸すなどしたらどうでしょうか。

会 長 入館者を月平均で言えば約1万人います。それだけの人数がいる場を今後どうしていくか、本の貸し借りをすること以外の魅力づくりについては、時間と予算がかかることです。今日の意見をもとに、長期的な視点でこれからの時代の流れの中で検討をお願いします。他にご意見はありませんか。

脇 川 図書館と学校との連携を積極的に図ってもらいたいと思います。大変とは思いますが出向いていくような取り組みをぜひお願いしたいと思います。

会 長 現在も行っていると思いますが、さらに学校と密な関係を構築して行けたらいいと思います。

副会長 今年度は学校図書館司書が2名配置されました。その方と図書館司書のコミュニケーションが密に取れるようになるといいと思います。

会 長 他にありませんか。

委 員 なし。

会 長 皆さん貴重な意見をありがとうございました。次にその他ですが、何かありますか。

委 員 なし。

会 長 事務局から何かありますか。

係 長 6月24日の朝日新聞で、6月14日に移動図書館車が栗島浦村に行ってきた記事が掲載されました。読み聞かせと本の貸し出しをしてきました。栗島島村への訪問は、子どもたちをが本に触れるいい機会ですので、今後も継続して行きたいと考えています。

会 長 他になければ事務局に進行をお返しします。

司 会 長時間にわたりありがとうございました。次回の開催予定ですが、11月中旬を予定しています。近くなりましたら通知をお送りさせていただきますのでよろしくお願いいたします。最後に閉会の挨拶を副会長からお願いします。

【板垣副会長あいさつ】

閉会(11:45)